

## 『向こう3ヶ年の温室効果ガス排出量削減計画』

わが社では、2004年より、県条例に従い「向こう3ヶ年の温室効果ガス排出量削減計画」を3年ごとに本社工場（CF・AP・本社）とAAHTの2工場よりそれぞれ、愛知県へ報告してきました。

今回はその中から、本社工場の2010年4月から2013年3月迄の削減計画の概要についてお知らせします。

※ 温室効果ガス=CO<sub>2</sub>・メタン・フロン・一酸化二窒素

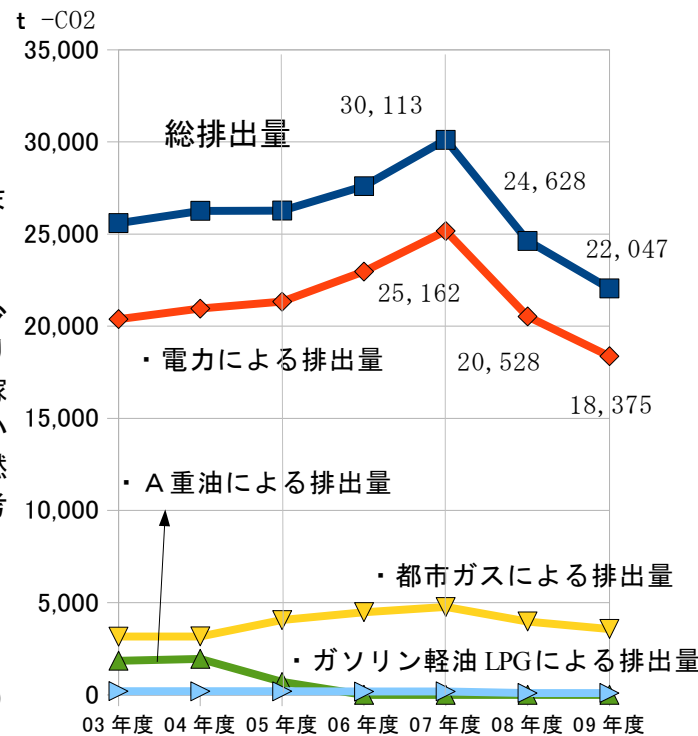
### 1. 3ヶ年の削減計画

わが社の環境改善活動は、毎年9月から翌年8月迄の1年間の単年度で活動計画を立てて取り組んで来ましたが、今回は、初めて各チームから向こう3ヶ年の計画を出してもらい、14件の「削減計画」をまとめることができました。

### 2. 過去の排出量実績の推移

'04年度～'05年度は電力による排出量は増加しましたが、ボイラーのA重油を廃止し都市ガスに転換した結果、総排出量はほぼ横這いになりました。

'08年度から2年連続で総排出量が大幅に減少したのは、生産量の減少が大きな要素でしたが、従来から取り組んできた「コンプレッサーの休日稼働台数の削減活動」や「消費電力の小さなコピー機の更新」「社有車の低燃費車への更新」等の効果も大きいと考えられます。



#### 上記の主な削減量 (3ヶ年累計)

- ・コンプレッサーの休日稼働台数削減 = Δ567 千 kWh (315 t-CO<sub>2</sub>)
- ・モーター負荷率・発熱率低減活動 = Δ145 千 kWh (80 t-CO<sub>2</sub>)
- ・コピー機更新 = Δ5 千 kWh (3 t-CO<sub>2</sub>)
- ・低燃費車への更新 = Δ1kL (3 t-CO<sub>2</sub>)

### 3. わが社の2010年～2012年の温室効果ガス削減計画

事業部	工場	種別	活動内容	削減量	CO <sub>2</sub> 削減量
-----	----	----	------	-----	---------------------

CF	第1	電力	コンプレッサー使用台数の削減 (コンパクトコンプレッサーの導入と配管効率の見直し)	914,640 kWh	388 t-CO <sub>2</sub>
	第4		高効率変圧器の採用 (変電設備)	150,000 kWh	64 t-CO <sub>2</sub>
	第1		蛍光灯のLED蛍光灯への変換 (通路・倉庫及び第1工場)	72,000 kWh	31 t-CO <sub>2</sub>
	第1		油圧モーターのインバーター化 (ブローチ盤)	63,360 kWh	27 t-CO <sub>2</sub>
	第1		サイクルタイム10秒短縮化 (新規ライン導入)	50,400 kWh	21 t-CO <sub>2</sub>
	第4	都市ガス	前処理炉から出る廃熱の利用	—	92 t-CO <sub>2</sub>

AP	第3	電力	ルーフファンの移設	91,800 kWh	39 t-CO <sub>2</sub>
	第3		高効率蛍光灯採用	11,600 kWh	14 t-CO <sub>2</sub>
	第7		生技ルームの換気追加設置	4,500 kWh	6 t-CO <sub>2</sub>

本社	電力	合併浄化槽廃止 (公共下水道へ接続)	18,000 kWh	8 t-CO <sub>2</sub>
		コピー機更新(2台)	1,400 kWh	0.6 t-CO <sub>2</sub>
	ガソリン	社有車の低燃費車への更新	1.5 kL	5 t-CO <sub>2</sub>
	フロン類	空調機のフロン回収	200 kg	85 t-CO <sub>2</sub>

電力削減量とCO <sub>2</sub> 削減量合計	1,492,900 kWh	677 t-CO <sub>2</sub>
電力以外のCO <sub>2</sub> 削減量合計		182 t-CO <sub>2</sub>
<b>CO<sub>2</sub>削減量総合計</b>		<b>859 t-CO<sub>2</sub></b>

第1工場(CF)では、すでにコンパクトコンプレッサー導入により、既存のコンプレッサーを1台停止させ、今後更なる展開に向けて取り組みが進められています。

第3工場(AP)でも、170灯あった水銀灯を92灯の高効率蛍光灯へ切り換えが進められています。そんな中、両者の表面温度を測定した結果、水銀灯=300℃、高効率蛍光灯=70℃ということが判り、高効率蛍光灯に切り換えることによって、室内温度の上昇の抑制も見込めることが判りました。これは、空調利用の節減→電力費削減に繋がるの見方も出来そうです。

CO<sub>2</sub>総排出量の中で電力に起因するものが80%あります。太陽光発電等の代替エネルギーの活用や皆さんの知恵出しによる改善活動を更に進めて行く必要があります。